

講習会開催報告

No.12-116 講習会「歯車技術基礎講座」

宮崎大学 中西 勉 (機械要素1技術企画委員会 委員長)

標記講習会は、これからの時代に対応できる歯車技術の基礎を平易に解説し、歯車の設計・製造・検査・運用技術に関わる方々あるいは関わる可能性のある方々の知識向上が図れる内容で、7名の講師により、2012年11月15日(木)と16日(金)の2日間、福岡市の「リファレンス駅東ビル」会議室Gにおいて開催されました。

本講習会の聴講者は、協賛の「精密工学会・自動車技術会・日本歯車工業会・日本設計工学会」をはじめとする関係各位のご尽力もあって、定員を超える58名で、そのうち九州近郊在住が約20名で、遠くは北海道・東北・首都圏在住などでした。

図1に、本講習会の実施状況を示します。本講習会は、本学会研究協力事業委員会所属分科会RC251の委員などの各位のご協力とこれまでの実績を踏まえて、次項で実施されました。

11月15日(木)

・動力伝達システムと歯車装置

京都大学 名誉教授 久保愛三

・歯車の幾何学的理解(1)基礎

広島大学 教授 永村和照

・歯車の幾何学的理解(2)実際

鳥取大学 教授 宮近幸逸

・歯車設計演習(1)幾何設計

・ディスカッションタイム(参加者による情報交換)

11月16日(金)

・歯車の力学的理解(1)強度/損傷

京都工芸繊維大学 教授 森脇一郎

・歯車設計演習(2)強度

・歯車の力学的理解(2)振動基礎

東京工業大学 教授 北條春夫

・歯車の加工法と検査

佐賀大学 名誉教授 吉野英弘

・歯車材料と熱処理法、高強度化法

岡山大学 教授 藤井正浩

なお、聴講者によるアンケートを実施したところ、回収率98%で、そのうち80%の方々から直接多くのご意見をいただきました。図2に、聴講者による本講習会の講義レベル並びに理解度の全体評価を示します。これらの結果などから、「聴講者の在住には、地方開催の特徴があったこと」「講習会の情報は、会社(上司)からが多いこと」「講習会への参加

は、ほとんど初めてであること」「講習会の開催時期は、11月で丁度良いこと」「講義のレベルは、やや難しいか丁度良い傾向であること」「講義の理解度は、ほぼ理解できていること」「より良い講習会にするためには、運営方法(対象聴講者・会場・名札・講義時間・講義内容・ディスカッションタイム内容・配布資料等)の改善が必要なこと」などがわかりました。今後も、改善を加えながら本講習会を企画・実施して参ります。

2013年度は、11月21日(木)、22日(金)、東京工業大学学生会館(すずかけホール)で開催予定です。

最後に、本講習会の聴講者の皆様並びに講師の先生方に厚くお礼申し上げます。また、ご協力いただいた一般社団法人日本機械学会事務局並びに社団法人日本歯車工業会事務局の方々をはじめとする関係各位に感謝の意を表します。



図1 No.12-116 講習会の実施状況

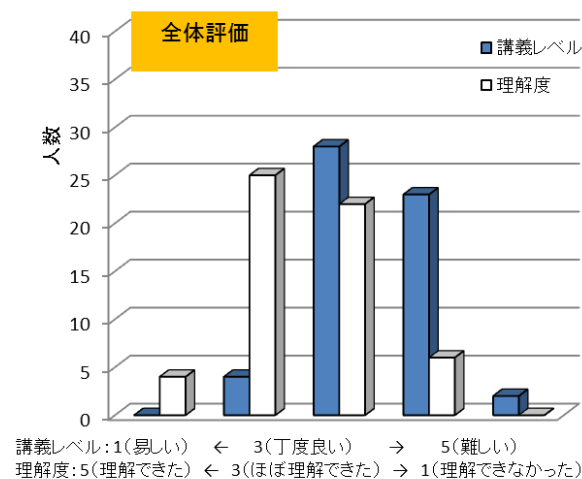


図2 No.12-116 講習会の聴講者による評価